

## 森基金研究成果報告書

研究課題名：「Distance Learning のための日・韓・中 Joint Lecture 用  
コンテンツ開発」

所属・職名・氏名：総合政策学部教授 渡辺吉鎔

### I. 研究課題

本研究は、研究代表者である渡辺吉鎔と、韓国延世大学の Cyber Education Center の Kim Hyunchul 所長（延世大学人文学部教授）、さらには中国の上海交通大学の Distance Education Center Of Shanghai の申瑞民所長との間に、日・韓・中3者間遠隔教育のための授業コンテンツを共同研究・開発することを課題としてスタートした。

### II. 研究経過と協約調印

#### 1. 2001年5月28日上海交通大学における遠隔教育会議

2001年3月以来、当プロジェクトは渡辺・Kim・申の3者がそれぞれの大学におけるネットワーク作りと遠隔教育推進努力を行ってきた。その結果、各大学に、推進母体が形成され、特に SFC においては政策・メディア研究科のグローバル・ガバナンス・プログラム（「GG」）が国際化戦略の一環として当プロジェクトに積極的に取り組むことが決定された。

2001年5月28日、上海交通大学でグローバル・ガバナンス遠隔教育実施プログラム会議が開催され、渡辺吉鎔（総合政策学部教授）、葉取源（上海交通大学副総長）、申瑞民（上海交通大学遠隔教育センター長）、胡偽（上海交通大学公共管理学研究所副所長兼政治学部教授）をはじめとする関係者たちが参席した。その会議結果に基づいて、3大学は本格的な協約調印を目標に遠隔教育プロジェクトの大枠を定める作業が行われた。

#### 2. 遠隔教育実施に関する調印締結

2001年8月18日に三田キャンパスにおいて塾長出席の下、(1)中国の上海交通大学と慶応義塾大学間では、Memorandum of Understanding on a Joint Distance Learning Project Between Shanghai Jiao Tong University and Keio University が、(2)韓国の延世大学と慶応義塾大学間では、Memorandum of Understanding on a Joint Distance Learning Project Between Yonsei University and Keio University が、そして(3)中国の上海交通大学と韓国の延世大学間では、Memorandum of Understanding on a Joint Distance Learning Project Between Shanghai Jiao Tong University and Yonsei University が交わされ、日・中・韓遠隔教育がいよいよ東アジアではじめて正式にスタートすることとなった。

MOU の主な内容としては、2002 年春学期を実験期間とし、2002 年秋学期から本格実施を行うこと、最初の 2 年間はグローバル・ガバナンス科目と IT 科目を互いに提供していくこと。そして Common Certificate または Common Degree 授与を目標に共同単位化のシステム作りを目標とすることなどが挙げられる。

これらの MOU は上海交通大学の葉取源副総長、延世大学の Chung Chin-wee 副総長、そして慶応義塾大学の斎藤信男常任理事によって署名がなされた。

上記 MOU に加えて、包括的友好協定が、慶応義塾大学安西塾長と各大学の総長との間に交わされた。

### 3 . 2001 年 8 月 19 日 日・中・韓の 3 者間遠隔教育会議

調印式の翌日の 8 月 19 日に、遠隔教育会議が開催され、各大学が今まで検討してきた大枠にのっとり、実施に向けた実務的な打ち合わせが行われた。

参加者は下記の通りである。

韓国延世大学 : Chin Wee Chung, Vice President for Academic Affairs,

Professor of Political Science

Kyung Chan Min , Dean of Academic Affairs, Professor of Mathematics

Hyung Chul Kim, Director of Yonsei Cyber Education Center

Professor of Philosophy

Dae Sik Hong, Associate Director of Information Systems

Professor of Electrical and Electronics Engineering

Woo Sang Kim, Assistant Director of Institute of East and West

Studies, Professor of Political Science

Sang Joon Kim, Research Professor, Institute of East and West Studies

中国上海交通大学 : Quyuan Ye, Vice President, Dean of Graduate School

Shen Rui-min, Director of Distance Education Center of Shanghai,

Professor of Computer Science and Engineering

Xu Naizhuang, Vice Dean of Computer Science and Engineering

Hu Wei, Institute of political Science and Public Administration

Deputy Dean , School of Public Administration

Li Cai Ying, School of Humanities and Science,

Vice Chairman of Administrative Affairs Committee

そして慶応大学 SFC 側からは、斎藤信男現常任理事、小島朋之総合政策学部長、渡辺吉鎔総合政策学部教授、萩野達也 ITC 所長などが参席した。

当日の議題としては、主に 1 . インフラを構成するテクノロジー関連、2.提供されるコンテンツとなる授業関連について議論された。

この会議において下記の事項が決定された。

(1)遠隔教育のタイミングは各国の学期開始時期のずれから、それぞれ共通期間である4月8日 6月15日(春学期)、9月28日 12月15日(秋学期)中に遠隔教育を行うこと、  
(2)各大学とも2単位科目とすること、(3)評価はレポート様式にすること、(4)その他の学事関連事項。

なお、各大学のプロジェクト責任者は次の通りとなった。

慶応 SFC：テクノロジー萩野達也、授業関連渡辺吉鎔

韓国延世大学：テクノロジー Daesik Hong、授業関連 Hyungchul Kim

中国上海交通大学：テクノロジー Rui-min Shen、授業関連 Wei Hu

#### 4. 2001年12月延世大学における遠隔教育会議

慶応 SFC のグローバル・ガバナンス・プログラムは、コアメンバーの小島朋之総合政策学部長の主導で、数年前より中国の復旦大学とグローバル・パートナーズ・ネットワークを形成し、毎年グローバル・ガバナンス・ワークショップを共同で開催してきた。

韓国の延世大学は、かねてより中国の名門校である復旦大学との学术交流強化を希望しており、この度、小島学部長の働きかけで、新たなパートナーを迎え、復旦大学 延世大学

慶応 SFC グローバル・ガバナンス間で遠隔教育実施に合意した。

12月渡辺吉鎔が延世大学に復旦大学を含めた遠隔教育プログラム開発について説明するとともに、3月末に復旦大学を含めた遠隔教育会議の議題について打ち合わせをした。

#### 5. 2002年2月28日 復旦大学における遠隔教育打ち合わせ会議(予定)

慶応 SFC のグローバル・ガバナンス・プログラムは、前述の MOU の決定の通り、2002年秋学期から本格的な日・中・韓遠隔授業の実施を予定している。グローバル・ガバナンス・プログラムとしては、2科目を提供する計画であるが、一つは、中国の復旦大学 韓国の延世大学 日本の慶応義塾大学 SFC のグローバル・ガバナンス間で遠隔授業が相互発・受信され、もう一つは中国の上海交通大学 韓国の延世大学 日本の慶応義塾大学 SFC のグローバル・ガバナンス間で実施されることになる。

新たな遠隔教育パートナーである復旦大学と提供科目やテクノロジー、単位化、Common Certificate などについて具体的な打ち合わせと確認を行う。

SFC からの参加者は、小島朋之総合政策学部学部長、総合政策学部教授でグローバル・ガバナンスコアメンバーの阿川尚之氏、ITC センター長の萩野達也環境情報学部教授、それに総合政策学部教授でグローバル・ガバナンスのコアメンバーで遠隔教育プロジェクト・リーダーの渡辺吉鎔が加わる。

#### 6. 2002年3月15日 韓国延世大学における遠隔教育打ち合わせ会議(予定)

復旦大学での打ち合わせ会議の結果を踏まえた上で、延世大学において3者間の調整のた

めの打ち合わせ会議が予定されている。

さらに、千代倉弘明環境情報教授が Web Learning System 関連で、この度「日・中・韓遠隔教育プロジェクト」に参加することになったが、延世大学の遠隔教育システム視察および SFC Web Learning System 紹介のために渡辺に、同行することになっている。

#### 7. 2002 年 3 月 30 日 日・中・韓遠隔教育会議（予定）

本年度も 3 月末に SFC 政策・メディア研究科のグローバル・ガバナンス・プログラム主催により、通例のグローバル・ガバナンス・ワークショップが三田の G-sec で行われるが、今年は特に日・中・韓の 4 大学、すなわち、中国の復旦大学、上海交通大学、韓国の延世大学が参加し、日本の慶応大学 SFC が中心となり、ワークショップと遠隔教育会議が盛大に行われる予定である。

この会議では、遠隔授業の長中期的なビジョンと、コンテンツ開発、有効な遠隔授業方法、学期中の 1 日巡礼ワークショップや学期後の Field Work 科目との連携など、具体的なカリキュラムの話しあいが予定されている。

#### III. 財政基盤形成について

遠隔教育が本格化したことに伴い、2002 年 4 月から 2 年間慶応義塾大学から大型研究助成をうけることになった。

研究課題は「日本・中国・韓国の 3 者間遠隔教育による慶応デジタル・ラーニングのアジア展開」である。

この初期の遠隔教育の実績に基づいて、今後は国や国家機関に規模の大きい研究費申請を計画している。

#### IV. 今後の課題

日・中・韓共同で「ガバナンス論」に関するさまざまなコンテンツを開発し、若い世代にとって学术交流が飛躍的に深化・発展する契機を用意することが計画されている。また、授業内容の深化に加え、マス・メディアなどを通じて 3 か国に積極的に PR 活動を行うことによって、グローバル社会、日・中・韓の地域社会、教育現場、アジアで展開中のさまざまな市民ネットワークに対して慶応 SFC のインパクトを強く打ち出していく。これが、この遠隔教育プロジェクトの今後の課題と考えている。